

国保料引き下げ等 予算要求を市長に提出

日本共産党岡山市議団は11月19日、来年度の予算要求を行いました。全445項目にのぼります。

市長とは特に重点項目で懇談し、国保料を引き下げることで、市立保育園幼稚園の民営化はしないこと、介護保険負担増の実態をつかむこと、苦田ダムの受水を減らすことなどを求めました。

市長は国保料について、国から毎年七億七千万円

「野党は共闘！」 戦争法廃止シンポジウム

11月28日、市内で岡山市九条の会連絡会が「オールジャパン」実現のためのシンポジウムを行い、150人が集まりました。民主党、維新の党の高井事務所、日本共産党、社会民主党、新社会党の五野党からパネリストが出席しました。戦争法（安保法制）反対で岡山市で活動してきた



あずま 東つよしの 奔走西走



からパネリストが出席しました。戦争法（安保法制）反対で岡山市で活動してきた

新たにお金が入ってくるなど、国保料引き上げ計画を決めた時と状況が変わったことを認め、どうするか検討していると答えました。

次の日には教育委員会に申し入れ、教育長との懇談で、先生の数を増やすことやスクールソーシャルワーカーの各校配置などを求めました。



人たちです。日本共産党のパネリストは植本かんじ

つよし

福富東の町内会の防災企画に75人が取り組み、消防団の土のう作り、非常食の試食、災害用伝言ダイヤルの体験などしました。毎月1日と15日は災害用伝言ダイヤルが試せる日です。災害で回線がパンクしても家の電話が壊れても伝言できます。みなさん「1771」とかけて体験してみましよう！（東つよし）

さんです。どの党も、野党が力を合わせて安倍政権の危険な動きをストップさせ、戦争法を廃止に追い込もうという思いは一致しています。フロアからの発言で「顔の見える共闘を進めることが大事」などの意見が出されました。

11月議会に安保法制廃止を求める陳情が出されました。岡山市議会でも平和の声を上げることが求められます。

他市の経験を岡山市に（視察報告）

市民参加の図書館づくり —佐賀県伊万里市—

市民文教委員会で佐賀県伊万里市の市民図書館を視察しました（写真は図書館HPから引用）。開設20年、市民活動の拠点になっています。

左写真の庭はバザーや野外音楽会ができます。下の写真は「のぼりがまのおへや」という子ども向けの読み聞かせスペース。話に集中できるように暗くできる階段状の部屋になっています。

個人のパソコンも置けるボックス席を設置、ここで会



社を興した人が2人います。調査要望に応えるスペースにベテラン司書を置きリファレンス機能を高めていることも力になっています。

図書館支援の市民団体が育っており、イベントで図書館利用を進めています。また市と市民、図書館共同で家庭での読書活動を支えています。隣の武雄市では民間のツタヤが指定管理で図書館を運営していますが、指定管理では伊万里市のような活動はできないということです。

津波避難タワー —宮城県仙台市—

仙台市は東日本大震災の津波被害を受け、避難施設の建設が進んでいます。防災対応力調査特別委員会で、津波避難タワーを視察しました。車イスでの避難も可能なスロープが設置され、三〇〇人が二四時間避難できます。建設費は二億三千万円です。



国が災害対策の予算で全額負担をしています。

岡山市は学校校舎耐震化を進めています。南海トラフ地震後二時間五分で到達する津波や、浸水からの避難が困難な地域の対策は不十分です。仙台市のような国の予算はないですが、ハード面も含めた検討は必要です。

日鐵住金建材株式会社は津波被害を受けた会社で、敷地内に自社製品の避難タワーを建てています。スロープなし二〇〇人収容で建設費七千万円です。



仙台市は今後起こりうる津波の想定地域で、陸側に逃げられない住民全てを収容できる数を整備します。財源は、